

「平内町公共施設等総合管理計画」概要版



1. 背景

■国の動向

中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を機に、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、平成 26 年 4 月には、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を策定するよう、地方公共団体に対し要請を行いました。

■平内町の取組み

平内町では、高度経済成長期を中心に、多くの公共建築物やインフラ施設を整備してきました。これらの公共施設等は、建設後およそ 40 年が経過し、寒冷地特有の凍害劣化等が顕在化しております。また、庁舎等の耐震化率は 33%と極めて低い状態です。厳しい財政状況の中で、いかに安全で良好な状態を保ちながらサービスを提供し、将来に引き継ぐために、「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

2. 課題

①公共施設等の修繕・更新費のピークが間もなく到来

高度経済成長期に建設された多くの公共施設等は、あと 4 年で更新ピークを迎え、建設・更新に充当できる投資的経費（10.3 億円）のおよそ 2 倍にも達します。この更新ピークを無くすことが課題となります。

②これまでの「対症療法型の維持管理」では財政が不足

これまでの「対症療法型の維持管理」では更新・建て替え等に多くの費用が発生するため、施設を安全に保ちながら長期に渡って修繕・更新費を縮減する必要があります。

③公共建築物（ハコモノ）の修繕・更新費が多い

公共建築物の修繕・更新費は、インフラ施設を含めた全体のおよそ 6 割を占めます。これは、本町の住民一人当たりの公共建築物延べ床面積が約 7.9m²/人であり、全国平均と比べ約 2.3 倍と高い値です。

3. 基本方針

①長寿命化

計画的な点検・診断及び修繕による「予防保全型の維持管理」によって、公共施設等の長寿命化を図り、建て替えコスト等の修繕・更新費を縮減します。

②質と量の最適化

修繕・更新費のおよそ 6 割を占める公共建築物については、今後 40 年かけて 3 割以上を削減することによって、修繕・更新費を削減します。

③平準化

将来の修繕・更新費が一時的に集中することに対し、修繕・更新工事を 3 年以上で計画的に分散する平準化によって、修繕・更新費のピークをならします。

4-1. 実施方針

①【長寿命化】予防保全型維持管理・長寿命化による修繕・更新費の縮減

学校施設、上・下水道施設、及び庁舎や公営住宅といった公共建築物について長寿命化計画の早期策定に努めます。また策定済みの施設等についても、長寿命化計画の検証を行い、適宜計画の見直しを行います。

②【質と量の最適化】公共建築物の質と量の最適化による修繕・更新費の削減

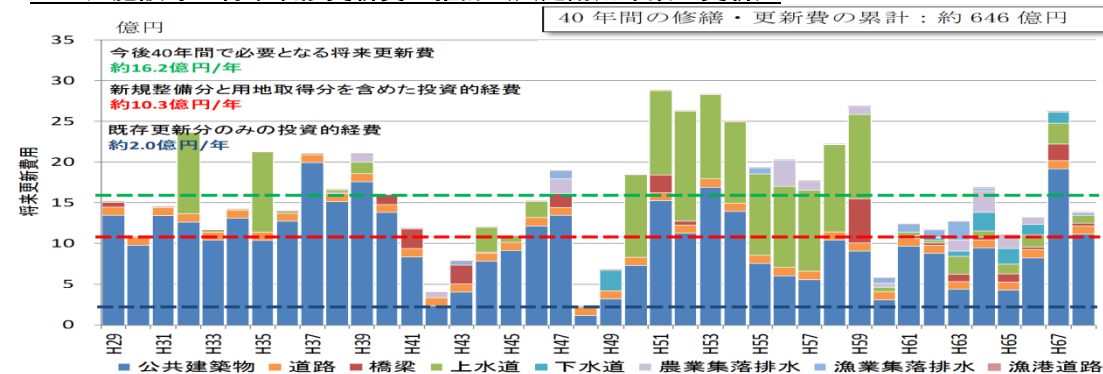
利用度の低い施設等については統合・廃止を含めた再配置及び除却等を検討することで、公共建築物の削減に努めます。

③【平準化】修繕・更新工事の分散・分割による修繕・更新費の平準化

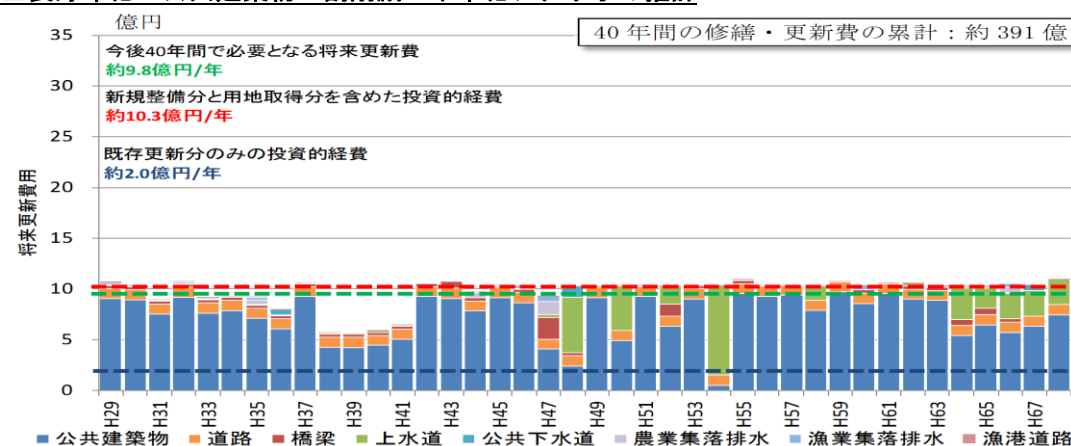
各施設の長寿命化計画等に基づいた将来の修繕・更新費を一元管理し、町全体としての修繕・更新費を把握します。投資的経費を上回る場合は、各課調整のうえ、優先順位等を踏まえ、さらなる工事分割等に努めます。

将来更新費の算出と長寿命化・削減・平準化シナリオ

■公共施設等の将来改修更新費の推計（法定耐用年数で更新）



■長寿命化+公共建築物3割削減+平準化シナリオの推計



4-2. 施設を安全に長期に渡り保全するための実施方針

①点検・診断等の実施方針

- ・日常的な点検活動や定期的な点検・診断等を実施します。
- ・点検・診断等の結果や補修・更新履歴等の情報を記録し、継続的に蓄積することで、メンテナンスサイクルの構築に努めます。

②維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・点検・診断等の情報を活用・分析することで、不要不急な工事を避け計画的な維持管理・修繕等の推進に努めます。
- ・「予防保全」と「事後保全」を適切に使い分け、修繕・更新コストの縮減に努めます。

③安全確保の実施方針

- ・住民が安全に利用できる公共施設等を目指し、点検・診断等の結果から危険部位を発見、優先順位等を踏まえ、施設等の安全対策に努めます。
- ・高度の危険性が認められた公共施設等は、安全確保の観点から撤去・解体も検討し安全対策に努めます。

④耐震化の実施方針

- ・地域防災計画等に基づき、公共施設等の重要度や利用状況等を踏まえ、撤去・解体も選択肢の一つに加え、非構造部材等を含めた耐震診断や耐震対策等について、優先度に配慮しながら計画的に推進します。

⑤長寿命化の実施方針

- ・予防保全、新技術・新工法等の活用によってコスト縮減と長寿命化に資するような修繕・更新等を適切な時期に実施していきます。
- ・長寿命化計画等を定期的に見直し、メンテナンスサイクルを構築します。

⑥統合や廃止の実施方針

- ・施設の利用状況等を踏まえ、質と量の最適化を図ります。

5. 計画推進に向けて

①全庁的な取り組み体制の構築

- ・将来の修繕・更新に関する予算の一元化管理に努めます。
- ・修繕・更新に関する工事情報等は、各所管課と共有を図ります。

②計画の進行管理

- ・定期的に計画を見直す PDCA サイクルによって、効果的な公共施設等総合管理計画を推進します。
- ・今後策定する個別施設の長寿命化計画と整合させることで、町の実態に即した公共施設等総合管理計画を推進します。

③公共施設等の質と量の最適化

- ・住民等との合意形成による統廃合、集約複合化等の推進を努めます。
- ・低未利用地等の売却や貸付等による財源への充当に努めます。

④広域的な連携

- ・周辺自治体との連携による公共建築物等の相互利用検討等を行います。
- ・官民連携による財政負担の軽減を検討します。